

津市の森林を知ろう、地域の木を使おう

～マイ箸作り体験～

津市立一身田中学校



ねらい

- ・自分たちの住んでいる津市の森林・林業の現状についてや森林のはたらきや大切さを知る。
- ・地域の木を使うことの大切さ、意義を知る。
- ・地域の木を使ってマイ箸作りを行い、木の良さを感じ木に親しむ。

はじめに、子どもたちは、講師から津市の森林・林業の話聞き、三重県産のスギ材を材料にして、小刀とサンドペーパーを使ってマイ箸作りを行いました。

座学では、津市の森林と林業の現状、森林の大切さ、特に「人工林では間伐が必要」との話聞き、地域の木を使うことが自分たちの住んでいる津市の森林を元気にすることを学びました。

マイ箸作りでは、小刀の扱いに苦戦する子どもが多かったですが、皆、真剣に取り組み、木の香り、木の感触を感じながら、木に親しむことが出来ました。出来上がったマイ箸で「家でご飯を食べたよ!」とうれしそうに報告してくれた子どももいました。



プログラム概要

内容	・森のお話 ・マイ箸作り
時間	1 クラス 50 分
場所	中学校木工室
対象	1 年生 182 人
講師	中勢森林組合
備考	「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育出前授業